	課題分析	授業改善策
1 年	・黒板に書かれたことを写すのにも時間がかかる	・モジュールの時間等に試写をする時間を定期的にと
	等、視写ができない児童が多い。	る。
	・ひらがなや数字の書き順等が定着していない児童	・家庭学習やモジュール、書写の時間を利用して、書
	がいる。	き順に気を付けて丁寧に書く習慣をつける。
	・10までのたし算、ひき算の暗算が不十分。	・授業内に、計算カードやプリントを活用して習熟を
		図る。
2 年	・作文を書く際、原稿用紙の使い方が理解できてい	・書く活動の単元では、なるべく原稿用紙を用いるよ
	ない児童が多い。	うにする。
	・ひらがな、カタカナの書き順等が定着していない	・朝のモジュール学習でひらがな等の書き順を練習し
	児童が多い。	習熟を図っていく。
千	・数字や記号の書き方が雑になる児童が見られる。	・ノートのチェックを行い、自分で間違いに気付ける
	・単位や句読点の書き方 (マスの使い方、高さ) に誤	ように指導を徹底していく。
	りのある児童が見られる。	・宿題などで、習熟を図っていく。
3	・読んだことや調べたことをもとに、自分の考えを	・文の書き出しを提示し、書き出しへの苦手意識を軽
	文章に表すことに課題がある児童が多い。	減する。継続的に言語活動を取り入れていく。
	・算数科における基礎的・基本的な内容が定着して	・個別に課題を出したり、学級全体で基礎的な問題を
年	いない児童が多い。	解く時間を授業内に設けたりして定着を図る。
	・意欲的に運動に取り組む児童が多いが、領域によ	・どの領域においても、楽しさを味わわせられるよう、
	って意欲に偏りがある。	児童の実態に応じた指導計画を立てていく。
	・基礎学力(四則計算、漢字の習得)の個人差が大き	・個別に指導したり、家庭への協力を促したりしなが
	٧٠°	ら、基礎学力の定着を図る。
4 年	・内容を正しく理解して読み取ることや、読み手を	・作文などの指導を丁寧にし、書くことに慣れるよう
	意識して伝わりやすい文章を書くことに課題があ	にしていく。
	る児童が多い。	・宿題の音読や読書活動を通して、文章に慣れ、内容
		の理解を深められるようにしていく。
	・自分の考えはあるものの、ノートに書いたり、発表	・ペアやグループで考えを共有する時間を設け、やり
	したりすることに抵抗をもっている児童がいる。	取りの中で考えをまとめられるようにする。
5 年	・漢字の習熟度に差があり、自信をもって書けてい	・日々の宿題だけではなく、モジュールの時間等を活
	る児童が一定数いる。	用して様々な方法で漢字の定着を目指す。
+	・算数や理科においては、既習や経験を生かして自	・学習課題を明確にし、以前の学習や経験につながる
	分で考えたり、考えたことを表現したりすること	ような段階的な発問をしていく。
	が難しい児童が多い。	
6 年	・思考力はあるものの、新しく習った言葉やその意	・算数や国語以外の教科でも、知識を定着させるため
	味を理解したり、覚えたりすることを苦手とする	に、振り返りの時間を活用して習熟を図る時間を設
	児童が多い。	ける。
	・漢字や計算の理解力に大きな差がある。	・モジュールや放課後の学習の時間を活用して、一人
	・分数のかけ算やわり算をした際に、約分を忘れて	一人の理解度を把握して声掛けを行うようにする。
	しまう児童が見られる。	・約分忘れの場合は、丁寧に計算しなおすよう指導し
		ていく。

	・基礎的・基本的な内容の定着に差が見られ、個人差	・定期的に既習事項を確認する機会をもつとともに、
	が大きいことが課題である。(算数)	休み時間や放課後に個別指導を行い、基礎的・基本
		的な内容の定着を図る。
専	・既習事項を活用することが難しい。(音楽)	・復習をしながら、全体指導を丁寧に行う。確実に習
科		得させてからグループ等で学び進めていけるよう

・発想するのが苦手な児童が一部見られる。(図工)

- 場の設定を工夫する。
- ・発想の手がかりやヒントを示すなど、手立てになる ような声掛けをする。